

## H13神奈川県地下構造調査 測定仕様

測定仕様	反射波測定 <small>(一部は、平成13年度神奈川県活断層調査)</small>	屈折波測定 <small>(一部は、東京大学地震研究所による調査)</small>	反射法 (高分解能) 測定 <small>(平成13年度神奈川県活断層調査)</small>
測線名	Line-A / Line B	Line-A / Line B	Line- C (Line-A と重複)
調査測線長	18.7km / 10.0km	18.7km / 10.0km	2.75km
<b>&lt; 発震系 &gt;</b>			
震源	バイプロサイズ 3台 (標準)	バイプロサイズ 4台	三バイブ 1台 (標準)
発震点間隔	100 m (標準)		12.5 m
発震回数/発震点	16回 (標準)	100回 (標準)	4回 (標準)
総発震点数	122/98	3	199
スイープ長	16 s	16 s	16 s
スイープ周波数	6 ~ 50 Hz	6 ~ 40 Hz	10 ~ 100 Hz
ドライブレベル	80 % (標準)	90 % (標準)	90 % (標準)
<b>&lt; 受振系 &gt;</b>			
受振点間隔	25m	25m	25m
受振展開	10kmスプリット	全区間固定	2.5kmスプリット
受振器	10Hzジオフォン	10Hzジオフォン	10Hzジオフォン
受振器数/受振点	9 (3 series × 3 parallel)	9 (3 series × 3 parallel)	9 (3 series × 3 parallel)
総受振点数	751点 / 400点	751点 / 400点	110点 (Loc.330-440)
<b>&lt; 記録系 &gt;</b>			
探鉱機形式	デジタルテレメトリー	デジタルテレメトリー	デジタルテレメトリー
チャンネル数	400 (標準)	1151	100
サンプルレート	4ms	4ms	2ms
録音記録長	6s	8s	2s

